

今月の
スポットライト

さわやか愛知とともに歩んでくださるケアワーカーの
一人ひとりを ご紹介していくコーナーです
ゲストは 正田初恵 さん

平成8年3月登録の大先輩である。
さわやか愛知で長い間リラクゼーションのサロンを催し、「ヘルパーを助けるヘルパー活動」
を担ってくれた希少なスタッフである。

幼少期から、他人の役に立ちたいという気持が強い多感な少女だった。ナイチンゲールにと
きめいて看護師を志したこともある。

世界平和機構の理念に心躍らせ、青年海外協力隊で活躍したいと考えたが、マザーテレサの名
言の「自分の周りから始めなさい。まず家族を愛しなさい」に感銘を受け、身近な活動を始め
ることを考えていた。

専門職を目指して美容師になり、出産を機に家庭に入った。美容の道が忘れられず、結婚式場
の美容室に勤め始めた。併せて、エステティシヤンの仕事も始めた。美と関わる中で身体の健
やかさあっての美しさ、と意識するようになった。アーユルベエダやホ・オポノポノとの出会
いは、自分の生き方を見つめ直すきっかけにもなった。

子育て中、近所の工場で早朝5時～7時のアルバイトをしながら、NPOに寄付したり、ユニ
セフのマンスリー・サポートプログラムに3口分の寄付で参加したりした。“3口分”の理由を
聞くと、即答だった。

「自分と子供の幸せへの感謝を、社会に還したかった。子供が3人だから3口分の支援をした
の。」

と語る笑顔が清々しい。そして、その想いを、子供たちにも話して聞かせた。

平成6年、35歳のとき、朝日新聞の記事を見て衝撃を受けた。

さわやか愛知という市民団体の活動について。とりわけ、そこにあった「時間預託」の言葉に
惹きつけられた。「素晴らしい理念だ！」感動したら、即それを実践するひとである。すぐ活
動を始め、時間預託も始めた。よたくしたものを寄付したり、自分のために積み立てたり、新
しい時代の潮流と充実感を強く感じた。

そして、不思議な体験の持ち主でもある。

さわやか愛知に登録した翌日、いつもの道を自転車で走っていて、何気なくハンドルを左に切
った。吸寄せられるように立寄った書店の店先にキラキラ輝くものがあった。近寄ってみると
棚に積まれた本の帯が光っていた。天使を題材にした本だった。

また別の日には頭上に金色に輝くハート形が現れた。

そういった現象に詳しい知人が「神様が応援しているんだよ！」と言ってくれた。

「さわやか愛知への登録も、正しい方向なんだ」と確信した。

「さわやか愛知のスタッフは、自分より他者のために働く人たちだから、
固まった体でサロンに来ていたわ。私は、少しでも皆さんの手当をしたくて
入る。」

理事長を、「川上先生」と呼ぶ。尊敬の念が自然に行動に現れるのだ。言葉
がある。

「代表は世の為、人の為を考える太陽、幸せを分け続けるマグマみたいな人。
代表を育てた御両親も素晴らしい。そして、スタッフ、はその輝きを受けて
私も皆さんの力になれると思うの。さわやか愛知は私の原点だもの。いつ
てもらってるの。そのことにまた感動するの。今もさわやか愛知に来る度に
る。さわやか愛知の建物や看板を見るだけでも、エネルギーをもらえる。他人の笑顔の

正田さんは、いつもパワーを与えてくれて身体をほぐしてくれて心を癒してくれて、「身体を
温めて白湯を飲んでね」と労ってくれます。理事長が父なら正田さんは母ですね(?)。離れて
いても、さわやか愛知を気遣い心配してくれています。ありがとうございます！

を売って前向きに心から頑張っています。」

次回は 長尾正己 さんの登場です

さわやかデイサービス&タウン



ヘルパー近藤幸夫さんが作ってくださってる
さわやか農園！
ジャガイモが大豊作。トマトやトウモロコシも収
穫時期を迎え、畑で収穫した野菜で調理レクを開
催しています。
ボランティアで来てくださるヘルパーさんや会員
の皆様のご力とお知恵をいただき
「いも餅・コンポート・ホットドックや五平餅」
など様々な調理を一緒に楽しんでいます。
ぜひ遊びにお寄りください



大府市消防本部による「火災予防査
察」
消防設備や避難経路の再確認
何があっても動じずに動けるようス
タッフ研修も万全です



大きく伸びてしまった「オリーブの樹」
あっという間に切ってくださいました。
皆様の協力で成り立っているな一つとて
も感謝の気持ちでいっぱいです。



代表にお願いし椅子を
買っていただきました
お尻が喜んでます
(AOA)
ありがとうございます！

